

パブリック・コメントの結果について (熊本県学校教育情報化推進計画素案)

- 1 募集期間
令和6年(2024年)12月23日(月)から令和7年(2025年)1月21日(火)まで
- 2 意見の件数(意見提出者数)
15件(4人・1団体)
- 3 意見の取扱い

反 映：寄せられたご意見の趣旨を踏まえ、内容に反映するもの	1件
既 記 載：寄せられたご意見の趣旨・考え方が既に素案に記載されているもの	3件
参 考：今後の取組の参考とさせていただきますもの	7件
そ の 他：素案以外についてのご意見として整理したもの	4件
- 4 意見の概要と県の考え方

意見 No.	意見・提案の概要	県の考え方	取扱い
1	<p>県立高等学校の学習者用端末の更新について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入手続きについて 年度当初は新学期準備で多忙を極めるため、納入業者と生徒(保護者)が直接手続きするよう配慮し、職員の負担がないようお願いしたい。 ・費用の負担について 保護者負担を減らすため、進学先等で継続して使用できる汎用性が高いPCが望ましい。 ・修理等について 端末は県で一括の修理センターを設ける等手続きの簡素化をお願いしたい。持ち帰りの移動時の破損が多い。自宅のPCと連動できれば、学校保管となり、故障が大きく減少する。 	<p>御意見を踏まえて、41ページ「目標達成に向けた取組み」に、端末の更新に当たっては、「学校の事務負担軽減等も踏まえながら」整理していく旨追記しました。</p>	反映
2	<p>ネットワーク環境の整備が進むことから、様々な手続きについても環境整備を進めてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校入試のインターネット出願 ・奨学のための給付金手続き ・特別支援教育就学奨励費の手続き(支弁区分決定等) 	<p>県立中学校・高等学校入学者選抜に係る業務については、システム化を推進していく旨記載しています。</p> <p>その他の手続きについても、申請状況や学校現場のご意見等踏まえ、検討して参ります。</p>	既記載
3	<p>ソフトウェア等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の充実について 急速に進むデジタル化に対応するため、職員向け教科ごとの研修等も検討してほしい。 ・デジタル教科書について 教師用のデジタル指導書についても予算面での配慮をお願いしたい。 ・Windows用ソフトについて Windowsを利用したソフトは、Chromebookで利用できないものがあり、Chromebookへ移行する場合は、速やかな移行のため、早急な検討が必要。 ・Chromebookからの印刷について Chromebookのファームウェア更新により、プリンターが接続しないトラブルが発生している。早急の改善が必要。 	<p>教職員向け研修については、教科・校種・習熟度等に応じて、ICTを効果的に活用した授業づくり等のためのより実践的かつ効果的な研修の充実を図る旨記載しています。</p> <p>なお、その他については、整備状況や学校現場のご意見等を踏まえ、検討して参ります。</p>	既記載
4	<p>教職員用端末の一台化について、教室への持ち運び、クラウド化による情報漏えいへの懸念等から不安が残る。外部とのファイルの互換性を考慮し、WindowsOSが必要。</p>	<p>教職員用端末の一台化については、教職員の負担軽減等に向けて、セキュリティの確保及びデータ管理の適正化等を図りながら、推進していく旨記載しています。</p>	既記載
5	<p>授業等でICT機器を使用することは、視覚的な学習や調べ学習等でとても有用だが、授業で無理に使用させるのではなく、活用できる部分で活用していけばよい。</p>	<p>一人一台端末などのICT活用による「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」の実現を目指し、効果的かつ最適な活用を推進して参ります。</p>	参考

意見 No.	意見・提案の概要	県の考え方(案)	取扱い
6	児童生徒・教職員が使用する端末については、機能面や一般企業での使用状況から、文書作成や表計算、プレゼンテーションのソフトは、MicrosoftのOfficeにすべき。	端末で使用するソフトについては、活用状況や学校現場のご意見等を踏まえ、検討して参ります。	参考
7	デジタルによる読解力の低下を理由に教科書をデジタルから紙媒体へ戻す方針である他国の事例がある。読解力の低下が本当たとした場合、大きな負の側面となり、デジタル教科書の推進は慎重となるべき。	デジタル教科書については、文部科学省の動向等や学校現場のご意見等も踏まえ、効果的な活用を推進して参ります。	参考
8	校務系・学習系ネットワークの統合、教職員用端末の一台化について反対する。職員のICTスキルは年々向上しているが、全ての職員ではない。端末を物理的に分け、校務系と学習系の利用サービスを分けることが、ヒューマンエラーによる個人情報流出を防止することとなる。	ネットワーク統合、端末の一台化については、業務の効率化とともに、セキュリティ対策の向上も併せて検討して参ります。	参考
9	ネットワークの統合、システム等のクラウド化は、ネットワークの整理や業務の簡素化のため、理解できる。生徒が情報系の授業で使用する据置型PCは、学習上必要なため、引き続き、使用できるように配慮してほしい。ネットワーク統合に伴う接続変更等については、支援員の手配等準備をお願いしたい。	教育用端末(据置型PCを含む)の整備や接続支援については、利用状況や学校現場のご意見等を踏まえ、検討して参ります。	参考
10	管理コスト面などから教職員用端末の一台化の背景は理解できる。授業教材・校務文書、校内の様々な情報管理や成績処理等での活用状況、外部からファイルが指定される現況等や機能による非再現性、移行に係る労力等から、教職員用端末については、WindowsOSの統一を強く希望する。	端末の一台化については、活用方法、セキュリティ対策、学校現場のご意見等を踏まえ、検討して参ります。	参考
11	ペーパーレスが進んでいるとはいえ、対外的な紙でのやりとりがなくなるとは考えられず、「学習系ネットワーク」に一本化する場合、教職員・生徒ともに、プリンターに接続できる環境も考慮してほしい。	ネットワーク統合については、周辺機器の整備状況や学校現場のご意見等を踏まえ、検討して参ります。	参考
12	スマートフォンやICT機器を利用した犯罪やいじめ等が増えており、SNS等には、法律等である程度使用に規制をかけることが必要。	法律の規制は素案以外へのご意見ですが、いじめ・自殺・不登校の対応や児童生徒の情報活用能力の育成等の取組みの中で参考にして参ります。	その他
13	1 魅力ある学校づくり ＜主な施策＞外部連携の充実のためのコーディネーター等の外部人材の活用について 外部人材の活用について、学校側にない知識や経験を持ち込んでもらえることは助かるが、外部人材に必要な人権感覚や情報管理意識があるか、それを指導するプログラムが組まれているか懸念。学校現場が外部人材を校内で活用するに当たって、外部人材に対する一定以上の研修を課すことなどが必要に感じる。		その他
14	2 子供たちの学びを支える環境づくり 取組24 教職員の人材確保、人材育成 学校現場における人材育成の観点からOJTの充実について トレーニングには、反省や振り返りがあってこそだが、OJTの評価・反省を促す職員の時間が圧倒的に不足していると感じる。まずは、人数を増やすことと、無駄な業務を削減することに尽きる。	素案以外(「第4期熊本県教育振興基本計画」)へのご意見ですが、様々な取組みの推進や検証等を行う中で参考にして参ります。	その他
15	2 子供たちの学びを支える環境づくり 取組27 学びを支える環境の整備 必要となるネットワークの増強について 是非ともお願いしたい。生徒が一斉に端末を使った場合、「ネットに繋がらない」という状況も起きている。生徒が「ストレスなく学びに集中できる環境」とは言い難い。		その他